

男女共同参画の推進について

【調査の目的】

経済のグローバル化や少子高齢化、人口減少など、私たちを取り巻く環境が急速に変化していく中、男女がお互いを尊重し、あらゆる分野でそれぞれの個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現は、大変重要です。

福岡県では、「女性がいきいきと働き活躍できること」を重要な施策のひとつに掲げ、計画期間を平成28年度から32年度とする「第4次福岡県男女共同参画計画」を策定し、様々な施策・事業を推進しているところです。

また、DV（ドメスティックバイオレンス）をはじめとする女性に対する暴力は依然として深刻であり、社会的・経済的に厳しい状況にある女性への支援も、男女共同参画社会を実現していく上で重視すべき課題です。

こうしたことから、今後の男女共同参画を推進する施策を検討企画する上での基礎資料とするため、皆さんの男女共同参画に関する意識や実態を把握させていただき、また、DVの被害者支援は、被害にあわれた方が早期に相談されることが肝要であることから、その相談窓口の周知度等を把握させていただきたいので、御協力をお願いいたします。

(人づくり・県民生活部男女共同参画推進課)

問8 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

1. 同感する
2. ある程度同感する
3. あまり同感しない
4. 同感しない

【回答内容】

	1 同感する	2 ある程度同感する	3 あまり同感しない	4 同感しない	総計	賛成派	反対派
総計	11	105	113	113	342	33.9%	66.1%
1 女性	3	58	67	73	201	30.3%	69.7%
2 男性	8	47	46	40	141	39.0%	61.0%

※ 賛成派：「同感する」、「ある程度同感する」と回答した人

※ 反対派：「あまり同感しない」、「同感しない」と回答した人

問9 【問8で「1. 同感する」、「2. ある程度同感する」と答えた人にお尋ねします。】

あなたが、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、そのように考える理由は何ですか。次の中から【2つまで】選んでください。

1. 自分の親がそうであったから
2. 家庭などでそう教えられてきたから
3. 周囲にそのように考える人が多いから
4. 社会がそういう雰囲気だから
5. 男女の身体的機能の違いから
6. 昔から確立された考え方だから
7. 女性の社会進出が少子化の一因になっていると考えるから
8. その他（以下に具体的にしてください）

【回答内容】

回答内容	回答者数	割合
1 自分の親がそうであったから	26	12.8%
2 家庭などでそう教えられてきたから	10	4.9%
3 周囲にそのように考える人が多いから	7	3.4%
4 社会がそういう雰囲気だから	23	11.3%
5 男女の身体的機能の違いから	58	28.6%
6 昔から確立された考え方だから	11	5.4%
7 女性の社会進出が少子化の一因になっていると考えるから	47	23.2%
8 その他	21	10.3%

問9-2 問9で「8」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

【回答内容】

- ・ 自分は家庭に入りたいから。(20代女性)
- ・ 男性が女性と同等の家事をこなせるとは思わないから。(40代女性)
- ・ 共働きは、社会のしくみ、会社の制度、個々人の理解がない中では成り立たない＝現状では無理。一見成り立っているようにみえる家庭では、祖父母の助けを借りている＝実際は成り立っていないのと同じ。ならば、むしろ男女どちらかが仕事、どちらかが家庭、というように分業の方が合理的。(必ずしも男が仕事でなくても良い。ポイントは分業)(30代女性)
- ・ 女性が中心になってやった方がいい家事が、実際多く、男性のように女性が仕事中心にして、うまくいかなかった家庭の事を聞くことがよくあるから。(30代女性)
- ・ 現在、家庭の中で仕事をしているのは自分だけで、妻は専業主婦です。わが家は自然にそのようになっているので、深く考えた事はありませんでした。(50代男性)
- ・ 子供がある程度大きくなったら女性も働いて生きがいを見つけていけばよいと思いますが、子供が小さいときはしっかり子供と向き合っていて欲しい。(60代女性)
- ・ 母親が子供の面倒を見、父親が働く昔の生活が子育ての上でよいと思うから。(50代女性)
- ・ その方が、家庭が上手く回る。例えば、母親が子供に必要な料理や身の回りの世話をする事により、孤立する子供を減らせる。家庭での役割を曖昧にしないですむ。(40代女性)
- ・ もし、子どもがいる場合、いくらお父さんが頑張ってもやはり母親にはなれないと思います。お父さん、お母さんと各々に得意分野で愛情をかける場面がある中で特別な事情がない限りはやはり、日々の生活に母親が必要だと思うからです。(20代女性)
- ・ 子供が幼少の頃は、親との時間が多い方がよいと思う。従って、現在の男女の返金年収は、男性の方が多い。家計を考える子供の幼少期は、男性が働きに出て、女性がパートタイム等で働くのが現実的である。将来の学費を考えると男性が働きに出て、女性がパートタイム等で働くのが現実的である。(50代男性)
- ・ 出産、子育てにともなう体の変化を実感して分かるのが、やはり女性は家庭を第一にしたほうがよいと感じました。若い時、結婚する前は真反対の考えでした。昨今のいろいろな事件は子供の被害が多すぎます。しかし優秀な女性はぜひ働いていただきたいです。(50代女性)
- ・ 全ての女性が結婚し子供が出来ても仕事をしたいと思っているわけではないと思う、例えば、経済的に余裕のある主婦、専業主婦で子供を育てることに生きがいを感じている女性などいろいろな考えがあり、何でもかんでも男女共同参画とPRするのはどうか。(70歳以上男性)
- ・ 自分自身が働くよりも、家庭のことをしている方が向いていると思うし、できればそうしたいと思うから。(30代女性)
- ・ 男性の役割と女性の役割は、決まっているのではないかと思います。女性で能力のある人は、社会進出をどんどんすべきだと思います。しかし、能力のある女性の意見は大いに尊重すべきですが、女性の本来もっている役割を阻害しているのではないかと思います。男性はいくら頑張っても子供は産めません(はるな愛は、子供はうめません)。少子化の原因を社会全体で考えないと日本は益々、少子高齢社会となり日本沈没します。

(60代男性)

- ・ 共稼ぎ家庭を複数知っているが、子どもが親をの愛情を必要とする時期から働いているので、中高生になって問題が噴出していた。情緒教育の面で感心しない。(60代男性)
- ・ 女性の社会進出は応援しています。子供を持つ母親はやはり家庭でしっかり子育てしてほしい。子供は小さいほど母を求めていると思うからです。仕事がしやすい環境づくりが地域で早急に必要ではないでしょうか。保育園ばかりではなく身近な公民館などに看護師や保育士が常時在中できるようになればいいですね。(60代女性)
- ・ 男女共同参画社会の形態として、「男は仕事、女は家庭」「女は仕事、男は家庭」「男も女も仕事・家庭」などがある。「男は仕事、女は家庭」という考え方を、遅れた考え・マイナスイメージとしてみるべきではない。(70歳以上男性)
- ・ 地域・家族の助け合いの精神が希薄になり、核家族・個人主義を優先するがために経済的負担が大きくなり、共働き等をしないとやっていけない余裕のない生活になっているように思う。一方、企業の方もパート・アルバイト等の低賃金化が進んでいるように思う。働けど生活楽にならずになっている。少なくとも子育て期間は、母親の愛情いっぱい生活としたし。(70歳以上男性)
- ・ 共働きでなくては、経済的に難しい世の中になっていますが、やはり子供が「ただいま」と言った時母親の「おかえり」の声が聞こえるのが一番理想的、3世代同居の家庭の場合は祖父母の声がありますが、核家族化が進む昨今は無理な話、ある程度同感には付けましたが、あくまでも理想論です。(70歳以上女性)

問10 あなたの家庭では、炊事・掃除・洗濯などの家事について、あなたと配偶者・パートナーのどちらが主にされていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。(配偶者・パートナーや子どもがいない方は、いと想定してお答えください。)

1. 自分
2. 配偶者・パートナー
3. 自分と配偶者・パートナーが同程度
4. その他の家族
5. 1～4には該当しない

【回答内容】

	1 自分	2 配偶者・パートナー	3 自分と配偶者・パートナーが同程度	4 その他の家族	5 1～4には該当しない	総計
1 女性	151 75.1%	3 1.5%	36 17.9%	4 2.0%	7 3.5%	201 100.0%
2 男性	9 6.4%	80 56.7%	42 29.8%	3 2.1%	7 5.0%	141 100.0%

問11 あなたの家庭では、育児・掃除・洗濯などの家事について、あなたと配偶者・パートナーのどちらが主にされていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。(配偶者・パートナーや子どもがいない方は、いると想定してお答えください。)

1. 自分
2. 配偶者・パートナー
3. 自分と配偶者・パートナーが同程度
4. その他の家族
5. 1～4には該当しない

【回答内容】

	1 自分	2 配偶者・パートナー	3 自分と配偶者・パートナーが同程度	4 その他の家族	5 1～4には該当しない	総計
1 女性	123	8	59		11	201
	61.2%	4.0%	29.4%	0.0%	5.5%	100.0%
2 男性	6	62	61		12	141
	4.3%	44.0%	43.3%	0.0%	8.5%	100.0%

※DV（ドメスティック・バイオレンス）とは

配偶者（事実婚を含む）や交際相手からの暴力をいいます。

【DVの事例】

身体的暴力	殴る、蹴る、物を投げつける など
精神的暴力	大声でどなる、無視する、外出・電話を制限する など
性的暴力	性行為の強要、避妊に協力しない など
経済的暴力	借金をさせる、生活費を渡さない など
子どもを利用した暴力	子どもに悪口を吹き込む など

※県の福祉事務所（9ヶ所）、女性相談所などに相談窓口を設けています。

問12 あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）について相談できる窓口があることを知っていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

1. 知っていた
2. 知らなかった

【回答内容】

	1 知っていた	2 知らなかった	総計
総計	290	52	342
	84.8%	15.2%	100%
1 女性	177	24	201
	88.1%	11.9%	100%
2 男性	113	28	141
	80.1%	19.9%	100%

問13 あなたは、「交際相手からの暴力」（いわゆる「デートDV」）について、知っていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

1. 言葉も、その内容も知っている
2. 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない
3. 言葉があることを知らなかった

【回答内容】

	1 「デートDV」という言葉も、その内容も知っている	2 「デートDV」という言葉があることは知っているが、内容はよく知らない	3 「デートDV」という言葉があることを知らなかった	総計
総計	166	78	98	342
	48.5%	22.8%	28.7%	100%
1 女性	105	43	53	201
	52.2%	21.4%	26.4%	100%
2 男性	61	35	45	141
	43.3%	24.8%	31.9%	100%

問14 あなたは、DV防止に関する広報を見たり、聞いたりしたことがありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

1. 見たり、聞いたりしたことがある
2. 見たことも、聞いたこともない

【回答内容】

	1 見たり、聞いたりしたことがある	2 見たことも、聞いたこともない	総計
総計	269	73	342
	78.7%	21.3%	100%
1 女性	162	39	201
	80.6%	19.4%	100%
2 男性	107	34	141
	75.9%	24.1%	100%

問15 (問14で「1」を選択された方にお尋ねします。)

あなたが見たり、聞いたりした広報の媒体はどのようなものでしたか。次の中から【2つまで】選んでください。

1. 県の広報紙、広報番組(テレビ・ラジオ)、ホームページ
2. 駅や公共施設、商業施設等に掲示されているポスターやステッカー
3. 公共施設や商業施設等に配架されているリーフレットやカード
4. 学校、大学等で配布されたリーフレットやカード
5. その他

【回答内容】

見たり、聞いたりしたことがある内容	回答数	割合
1 県の広報紙、広報番組(テレビ・ラジオ)、ホームページ	165	37.6%
2 駅や公共施設、商業施設等に掲示されているポスターやステッカー	123	28.0%
3 公共施設や商業施設等に配架されているリーフレットやカード	98	22.3%
4 学校、大学等で配布されたリーフレットやカード	40	9.1%
5 その他	13	3.0%

問15-2 問15で「5」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

【回答内容】

- ・ 新聞記事 (60代女性)
- ・ 民間のニュースの特集コーナーにて (40代女性)
- ・ 実体験で妻からの家庭内暴力を受けて離婚した (30代男性)
- ・ 職場での配布物 (50代女性)
- ・ インターネット関連 (40代男性)
- ・ テレビ番組の特集で。(40代女性)
- ・ ネット上の記事やニュース。(50代女性)

- ・ ネット 友人との会話 (60代女性)
- ・ 市の広報誌 (30代女性)
- ・ 医療関係に勤めているので、そこでの勉強会にて。(20代女性)
- ・ 会社のモラル教育など (50代男性)
- ・ インターネット (40代女性)

問16 男女共同参画の推進について、これまでの設問意外に意見はありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

1. ある (次の設問で具体的に入力してください)
2. 特になし

【回答内容】

	1 ある	2 なし	総計
総計	47	295	342
	13.7%	86.3%	100.0%
1 女性	20	181	201
	10.0%	90.0%	100.0%
2 男性	27	114	141
	19.1%	80.9%	100.0%

問16-2 問16で「1」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

【回答内容】

(女性)

- ・ 未だに昔ながらの考えが強く残っているので、子育てにしても父親よりも母親という考えが強く会社でも休むのは母親という考えを変えていく努力を周りがしないと無理だと思う。(30代)
- ・ 男女に限らず結局のテーマは『思いやり』に尽きると考えています。社会問題のすべての共通テーマだと思っています。学校や職場、所属など問わず『いじめ』にしても社会生活で人間関係が不要な時は一切ない。だからこそ、立場や属性の不問で思いやりの育みが、私たちの考える必要なテーマ。身勝手さも人にはあると思うからこそ啓発しかないように思います。(40代)
- ・ 世の中の考え方が男の人中心になっている。無償で家事をすることが働くよりどれくらい大変かわかって欲しい。(30代)
- ・ 上の設問と重複しますが、男女共同参画の推進については生涯学習の提供が必要かと思います。実際に男女共同参画を行う現役世代と、その親・祖父母世代の認識の違いが大きいことにより、男女共同参画の実現が阻まれているケースもよくあると思うからです。現役世代・親世代ともに考えられる機会があるといいですね。(40代)
- ・ どうせ何も変わらない。(40代)

- ・ 幼い時の刷り込みが有ると思う。以前「絵本から学ぶ男女共同参画」を主宰した。自治体からの参加者も多かった。絵本という身近な素材を使って何気ない日常の中にも男女の役割を刷り込むような記述が有ったりしている事に気づく。ぜひ県でも取り入れてほしい。当時の資料を提供できる。講師の紹介も可能（70歳以上）
- ・ 精神的暴力は他人に目に見えてわかってもらにくいので深刻化しやすいです。（50代）
- ・ 男は仕事、女は家庭との考えが正しいと考えている女性も少なくなく、いろんな考えの人が言うので多様性を認めながら進めて欲しい。（50代）
- ・ 我家は家事を分担しつつ共働き・・教員を30年続けたが、50歳で妻の私が退職し夫は仕事、妻は家事という形となった。原因は年々ひどくなる長時間労働である。片方が家庭を支えなければまともな家庭生活が営めなかったのである。教員に限らず、どの職種でも長時間労働を改めなければ男女にかかわらず生き生きと活躍することはできないと思う。（50代）
- ・ 男女共同参画は女性ばかりが詳しい気がしますし、男性が詳しい場合でも、特に協力してくれるような風潮はまだない気がします。福岡県などがもっともっと取上げて、男性が積極的に取組めるようなセミナー開催をバンバンお願いしたいです。宜しくお願いします。（40代）
- ・ 全てが男女平等であることが平等ではないと言うことを念頭に置いて欲しい。女性の身体の不調、出産など、そもそもの役割が違った上で「平等」であって欲しい。（60代）
- ・ DVは女性から男性に向けて行われる場合もありますので、注意喚起するなら男女ともをお願いします。家事育児分担に関しては、年配者の意識改革が必要だと考えています。若者は男女で分担する姿や話を聞きますが、それを年配者が理解しなければ、男性が家庭のことで仕事を休むことを上司に咎められるなど、現実的に分担が難しい場合が少なくないようです。（50代）
- ・ 女性が出産しても仕事ができるように社会が変わらないといけないと思う。そのためには保育園に希望すればみんなが入れることや、病児保育の充実・夫（パートナー）の協力・社会全体がみんなで子供を育てるという認識の変化が必要だと思う。まだまだ女性が育児をするという認識が高く、子育てしながら女性が働くのは負担が大きく、大変で、結果少子化につながっていると思う。（30代）
- ・ 女性の仕事を男性が担うようにとかほんとに社会の構造が女性の給料が安い時点でできないと思う。（20代）
- ・ 「男は仕事、女は家庭」を否定するのが男女平等ではなく、男女に関係なく、パートナーや家族と協力しあってそれぞれが自分にできることをしていけるのが「男女共同参画」に求められていることだと思います。（30代）
- ・ 男女共同参画といっても、やっぱり男性が優位な社会になっていると思います。相談に来る窓口も大切ですが、それ以前の啓蒙活動が幼少時から大人まで必要に思います。（40代）
- ・ 女性が働く事は当たり前になって来たが家事や育児は女性の負担が多いまま。特に九州男児という言葉がある様に福岡の男子は家事をしてくれないイメージがある。（40代）
- ・ 地域柄がいまだに男尊女卑が根強く残っているように感じる。小学校など小さい頃から男女共同参画について学べる機会を作ったほうが良いと思います。（40代）
- ・ 子育てしているお母さんが仕事しやすい社会になってほしいです。（40代）
- ・ 子どもの成長過程や家族の状況に応じた多様な働き方が、男女とも選択可能になるよう

に、みんなで考えていきたい。(40代)

(男性)

- ・ 女性にも権利を与え、責任もおって頂く。(60代)
- ・ 男女共同参画の推進にあたっては、(男と女の決定的な違い)やはり子供をおなかの中に入れて出産するまでの期間とその後の休養期間をいかにフォローするかにかかっているのではないのでしょうか。(60代)
- ・ もっと啓蒙活動をすべきである(60代)
- ・ 家庭内暴力から避難する方法をもっと広告するべきさと思います。強い女性が増え暴力を受ける男性も増えています。しかし男性は強くあるべきという考えがあり逃げることは許されていません。(30代)
- ・ 配偶者暴力相談支援センターが24時間対応していないのは意味がない。職員優先ではなく被害者優先であるべき。被害を受けて電話したら時間外ですというアナウンスを聞くのは何のコメディイでしょうか。なんでもそうですが緊急、緊急という割にはこの窓口は17時15分まで等、もはやギャグにしか見えない。※設問とは別意見ですが、半角を受け付けられない仕様をやめてほしい。(40代)
- ・ 企画そのものが時代にそぐわない陳腐化した物が多い。幅広く意見を聞いて、新鮮な、誰もが興味を抱く企画をお願いしたい。(70歳以上)
- ・ 昔に比べ家事や子育てに協力的な男性は増えていると思いますが、社会的な制度などはテレビなどで紹介される海外に比べると劣っているなと思います。
- ・ デートDVという言葉は直感的に分かりにくいですし、窃盗を万引きと言うのと同じように犯罪性を薄めてしまう言葉のように思います。恋人であろうと他人であろうと暴力は傷害罪ですし、言葉の暴力も許されるものではありません。(40代)
- ・ 男女共同参画の世の中を創るためには、特に女性の「スキルアップ」が肝要。(70歳以上)
- ・ 男女を問わず、意識改革が必要。そのための施策をもっと進めるべきだと思います。高齢者が変わるのには壁が高いでしょうが、この層がもっとも必要。(60代)
- ・ 家庭の在り方は千差万別…お互いが形にとらわれず協力して生活することが必要だと思います。世の中には格差・矛盾・差別いろいろありますそれに負けないように！(70歳以上)
- ・ 男女共同参画はあくまで本人の意思、意向を尊重するべきで、講習するなど雰囲気作りはよいが 周りから押し付けるのは慎むべきです。(70歳以上)
- ・ 県及び出先機関での短期職員募集の拡大(30代)
- ・ 無理矢理する必要無し。政治の世界の女性議員や閣僚の体たらくを見たら、余計そう思う。(60代)
- ・ 家事や育児も夫婦で協力して行うのが理想ですが、様々な夫婦の事情や形があると思うので分業するのも一つの在り方だと思います。形式的に男女共同参画を唱えるのには違和感があります。大切なのはお互いを尊重しあうことです。(60代)
- ・ 私は昭和25年に小学校に入学し、学校行事、掃除等は記憶の限り男女の差が余りありませんでしたが中学校時転向した先の学校は男子女子の特に掃除の差があり驚きました。現在自治会の役員を長くやっておりますが、女性を軽視する人は多い。これは男性に限らず女性の意識の变革も必須ではないだろうか。女性が女性の足を引っ張っていることが地域では多い。(70歳以上)

- ・ DVの場合よく男性の意識や行為が問題にされがちですが、幼少期からの生活環境により、固定観念や強迫観念に支配されている女性も多くいると思われます。夫が家事を行おうとしても「それは妻の領分だから」とか「世間体が悪い」「自分の親から怒られる」など拒否するケースが多々見られると思います。女性をジェンダーの支配から解き放つ取り組みも重要だと思います。(50代)
- ・ 小学校教育の段階から、子供ら翻っては私たちに啓発をすべきであります。(50代)
- ・ 子供を育てる仕組みづくりを研究し、モデル事業を表現することを望みます。興味ある、意識のある住民の声や行動を生かすシステム構築を地域コンクールなどで発表されることを望みます。(60代)
- ・ 子育て支援 (60代)
- ・ 今回の設問で男女共同参画とDVが一括りにされていますが、これらは本来一緒に議論できるものではないと思います。男女の共同参画という広く社会的な目線での議論とDVという正に言葉通りのドメスティックな内容は、議論の土俵が違ふと感じます。それぞれで、掘り下げるべきではないでしょうか。(60代)
- ・ 自治体の男女共同参画課が男女共同参画係になったり、県や市の男女共同参画センター等で実施されていた「学生向けセミナー」や「困難女性向けセミナー」が無くなったりしている状況を見るにつけ、本当に推進に力をいれているのか、疑わしくさえ思える。(60代)
- ・ 女性の多方面における進出や活躍は当然です。しかし、身体的にあるいは生態的・性能的・母性的(子供を産む・育てる・守る等)に女性が本質的になすべきことを放棄するような、男女平等観は人間として許されないことを念頭に置いておくべきと考えます。(70歳以上)
- ・ 専業主婦を評価する制度を作って欲しい、企業では成果報酬が一般的だが家庭に入っている専業主婦は、社会からの評価がない。評価する制度があれば、もっと良くなるように思います。(50代)
- ・ 企業において、特に職場での、同一労働の判断基準を確立すべき。(70歳以上)
- ・ 質問の趣旨が不明確と思う。「男女共同参画の問題」であれば、家事分担・DV以外にも多岐に亘り意見があるが、「具体的に」と制限をつけるのであれば家事分担・DVについてとしか受け取れない。設問趣旨を明確にされたい。(60代)
- ・ 男女雇用機会均等なので同一労働、賃金なので同一の労働を行って欲しいです。男女で多少の体力差は理解しますが、女性だから、暑い所は嫌など、女性だから、好き嫌いを言うて良いとは思えません。職種がどのような物か理解した上で、女性は職場、職種を選んで欲しいです。男性の私が好き嫌い言うて解雇です。(40代)